

## カネマツ自動車(株)中部運輸局長表彰



令和2年度中部運輸局優良事業者局長表彰式が10月29日(木)に中部運輸局で開催されました。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して、中部運輸局管内5県の被表彰者214事業者のうち、各部門ごとの代表者13事業者のみの出席となりました。

本年度の環境対策の貢献としての表彰は、車体整備部門が代表を任せ

られ、愛車協の「カネマツ自動車株式会社」が代表で「坪井」中部運輸局長から表彰状を授与されました。(坪井局長と記念撮影 → →)

なお、カネマツ自動車株式会社は、中部運輸局優良事業者支局長表彰を本年度含めて4年連続受賞されております。

大変、おめでとうございます。



## 正・副理事長会 開催

第37回正・副理事長会が10月27日(火)午後から愛車協事務室内において全員参加で開催されました。

11月の理事会に向けて、次の内容を検討し、上程する予定です。

- ・新入会(3社)について
- ・職員の採用について
- ・日車協連の動きについて
- ・令和2年度中部運輸局優良事業者局長表彰について
- ・賛助会員との意見交換会開催延期について
- ・本年度の高度化車体整備技能講習の開催について
- ・来年度の改選の流れについて



詳しくは、新着情報を → → [https://www.aishakyo.jp/files/PDF/2020/20201027\\_37sei-huku.pdf](https://www.aishakyo.jp/files/PDF/2020/20201027_37sei-huku.pdf)

## 「溶接ヒューム」及び「塩基性酸化マンガ」が特定化学物質に

既にメールでお知らせした「溶接ヒューム」及び「塩基性酸化マンガ」が、労働者に神経障害等の健康障害を及ぼすおそれがあることが明らかになったため、特定化学物質(第2類物質)に加えられる等の改正が行われて、令和3年4月1日から改正法令が順次施行されます。

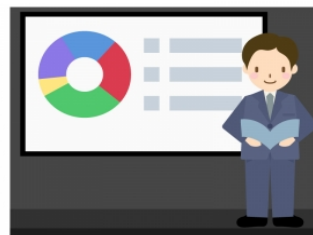
厚生労働省本省作成のリーフレットは、次のHPをご参照ください。

- ▶ 金属アーク溶接等作業を継続して屋内作業場で行う皆さまへ

<https://jsite.mhlw.go.jp/aichi-roudoukyoku/content/contents/000713767.pdf>

- ▶ 『2022年3月31日までに 空気中の溶接ヒューム濃度の測定等を行いましょう。』

<https://jsite.mhlw.go.jp/aichi-roudoukyoku/content/contents/kuuki.pdf>



# 愛車協の展示コーナー

11月

11月から自動車会館1階ホールにおいて、毎年恒例となりました電装品整備商工組合、タイヤ商工協同組合及び愛車協の特殊整備部門3団体、いわゆる三特会による展示コーナーを開設しております、  
愛車協とはどのような団体なのか？車体整備士とは？等々・・・  
パネル、幟、標識を使い愛車協をアピールし展示しております。  
是非、自動車会館の展示コーナーにお立ち寄り下さい。



## 11月を「しわ寄せ」防止キャンペーン月間

国土交通省自動車局を通して、公正取引委員会・中小企業庁・厚生労働省より、「しわ寄せ」防止キャンペーン月間の周知案内がありました。  
本キャンペーンは、昨年6月に策定された「大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請等中小事業者への「しわ寄せ」防止のための総合対策」に基づき、11月を「しわ寄せ」防止キャンペーン月間と位置づけ、集中的な周知啓発を行っているものです。  
詳しくは、次の「しわ寄せ」防止特設サイトに、関係パンフレットが掲載されております。

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayoseboushi/>

## 特定整備工場の申請状況

4月施行の特定整備工場制度開始に伴う取得済事業者数は、10月末現在、愛知県全体で229社（愛整振情報）が特定整備工場を取得しており、その内愛車協組合員の取得数等は、以下のとおりです。

- ①整備主任者等資格取得講習者数：97人
- ②新規電子制御装置整備の特定整備工場取得者数：2社
- ③自動車特定整備事業の変更申請の提出事業者数：14社



## 晩秋のつぶやき☆酒は「百薬の長」or「百毒...」!?

まだまだ、新型コロナウイルスの流行が治まりませんね。春以降、夜の酒宴がメッキリ減り、体重も減り、体調がすこぶる良くなったと言う人も多いのでは(^\_^)。

逆に、小生のように以前より量が増えて体重も増加したとお困りの人も多いのでは・・・(>\_<)。

しかし、そろそろ忘年会シーズン。そこで、今回は、酒にまつわる”ことわざ”を列記しました。

まずは、酒を賛美した「酒は百薬の長」はその最右翼。「朝酒は門田を売っても飲め」（朝酒は格別おいしいので、少々無理をしてでも飲むべきだということ。「門田」は家の門前にある田の意味です。）  
「後ろに柱前に酒」（快く気楽な気分のたとえ。後ろにある柱にもたれかかり酒を飲むという意から。）

次に賛美とは真逆な「酒は百毒の長」といった否定的なものまで存在しています。「一杯は人酒を飲む、二杯は酒酒を飲む、三杯は酒人を飲む」（多量に酒を飲むことを戒めた言葉。酒も少量のうちにはよいが、多量になると自制心をなくし、しまいには人が酒に飲まれ乱れてしまうということです。）

さてさて、あなたはどちらの格言を信じますか\_(?\_?)\_。

ナント、ナント※今年も残すところ僅か2ヶ月弱。

お酒を適量に嗜みながら「酒は百薬の長」と信じ新型コロナウイルスに負けないで、本年の年末を健康で元気ハツラツに迎えたいものですねえ。(o^)(y.m)

